

## 高等科1年、2年 裁縫

### 部分縫いの動画制作 ～女子部の基本ブラウス作りから～

加地 泰子 吉永 智子

女子部の裁縫の授業では中等科1年から様々な作品を製作している。作品作りには多くの工程があるが、一つ一つの作業に意味があり、順序良く進めることで良い作品に仕上げることができる。そのため、工程を良く理解し、手を動かすことが重要になる。

授業での説明を聞いて理解したつもりになっていても、実際に自分でする時や宿題になるとよく分からないということもある。そのような時に助けとなるものがあれば、より一層裁縫に取り組みやすくなるのではと考えた。今回の学業報告会では作品の工程で特に複雑な部分を動画に撮り残すことで、授業などでも活用できるのではと考え、部分縫い動画製作とブラウス製作過程の写真による説明に取り組んだ。

#### I. はじめに

普段の裁縫の授業では製作する衣服の法制方法をプリントと板書、そして見本をもって細かく説明をする。しかし、授業での説明のみではすべてを理解することが難しいこともあり、複雑な工程などは特に何度もくりかえして確かめたいという生徒の要望もあり、写真による説明と動画製作に着手することにした。

#### II. 報告会にむけて

まずどの部分縫いを取り上げるかを考えた。多くの人が難しいと感じ、他の縫い方と混同しやすい4つの部分縫い「ボタンホール」「まつり」「たてまつり」「袖付け」を挙げることにした。

そして、それが全て含まれているブラウスを一通り作ることで、その過程と部分縫いについて詳しく説明ができるものが作れると考え、見本となるブラウスを製作しその過程を記録することにした。

型紙を書くことから始め、裁断、印しつけ、仮縫い、本縫い、仕上げと段階を追って一つ一つの写真を撮り、基本を確認しながら作業を進めた。その過程で、「まつり」「たてまつり」「袖付け」については写真での説明に、「ボタンホール」は動画にすることを決めた。

#### III. 展示発表の内容

学業報告会当日は以下の表と動画を iPad で上映することで展示発表をした。

#### IV. おわりに

ブラウス製作をしながら、細かく工程を辿っていくことで、ポイントを見落としていたことに気がついたり、コツをつかんだりと生徒個人としても良い復習になり、基礎の大切さが大きな作品に繋がっていくことを改めて感じた学業報告会準備期間となったのではないかと感じている。

今回製作した動画は授業での説明や解散後に裁縫室で利用する他、長期休みに各自が閲覧できるようにシステムを構築していきたいと考え、更に改善を加え、実際に中等科1年の裁縫の授業でボタンホールのかがり方を説明する時に使用した。そして、復習用として長期休みには動画をそれぞれの家庭で見られるように配信をした。

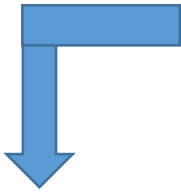
今回製作した動画、写真を土台として、今後の裁縫の学びがより発展的になっていくように工夫を続けていきたい。



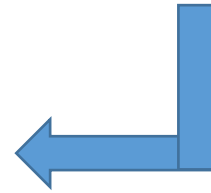
[裁断]



[へらを使って印をつける]



[しつけ糸で仮縫い]



[本縫い、アイロンかけ]



[試着]

[上段2枚は表、下段は動画]

